

きずなの郷

第17号
2005 夏

発行 社会福祉法人 厚生協会

平成17年7月30日

福祉も変わります

理事長 佐々木 忠利

皆さん、こんにちは。

私共の厚生協会は昨年創設五十周年を迎えました。この間町内外の皆さまには陰に陽にご指導ご鞭撻を賜り厚く御礼を申し上げます。

お蔭様で昨年は新しい作業棟も建設され、それぞれの事業も順調に推移いたしました。

こうした中で福祉をとりまく情勢は、国の財政逼迫に伴い大きく変わろうとしております。

これは今、三位一体という言葉の下に①国の支出金を減らす。②税源を地方に移譲する。③地方交付税を見直す。という作業を一気にやって地方分権を進めるといっております。

しかし、昨今の流れを見ておきますと、地方の事は増やすけれど、地方にお金はよこさない。福祉関係

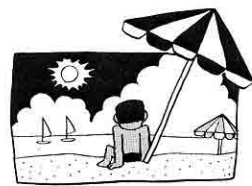
理事長挨拶… 1
施設長に就任して… 1
高畑訓子

厚生協会からのお知らせ

平成16年度
事業報告… 2
平成16年度
決算報告… 5

各施設からのたより

わかふじ寮・やすらぎ荘
新得やすらぎ荘… 6
屈足わかふじ園… 10
ご寄附・ご寄贈芳名… 14
商品ご案内… 14



は利用者の負担が増えそうな方向で検討されております。

去る五月二十八日札幌で全国ろうあ者大会が開催されましたが、席上今国会に上程されている「障害者自立支援法」が課題になりました。障害者の負担が重くなる。手話通訳者育成の財源に不安があるなど、議論され、スローガンには、「応益負担を導入する障害者自立支援法案の見直しを」ということも掲げられておりました。

国会の審議を見守りたいと思います。

私達はこうした流れを良く見極めながら、厚生協会の事業を、堅実に前向きに利用者の幸せのために進展させなければなりません。

各位の一層のご支援をお願い申し上げます。



施設長に就任して



高畑 訓子

四月より新得やすらぎ荘へ八年ぶりに戻り、厳しい時期に来てしまったのではないだろうかというのが、今の正直な感想です。介護保険が平成十二年より導入され、今年は大きな改正の年になるため、特養においては、十月から入所施設の居住費と食費が保険給付の対象外となり、利用者の利用負担が増額されます。また、日帰りサービスは、軽度な要介護者を対象にした新予防給付の動向を見極めながら、新たな事業の展開が必要です。さらに、聴覚障害者養護老人ホームは、措置制度からの移行で、平成十八年度に向けて養護老人ホームのあり方を検討していかなければならない状態です。このような状況の中で、微力ながら、今一度原点に戻り職員と共に自分たちに求められているミッション（使命）を確認し、利用者の笑顔を糧に、サービス向上に向けて努めさせていたいただきたいと考えています。なにとぞよろしくご支援、ご指導のほどをお願い申し上げます。

平成16年度 事業報告

■ 法人本部

三位一体改革による、社会保障全般の見直しが進み、障害保健福祉施策の根幹を大きく変える障害者自立支援法案が国会に提出され、障害者施設、事業の再編や利用者負担の見直しについて新たな方向性が示された。

このような状況下にあつて、平成16年度は、厚生協会全体として経営意識の浸透と職員の意識改革に努めてきた。施設整備事業では、懸案であつたわかふじ寮木工作業棟建設を日本自転車振興会（競輪）の補助金と新得町の助成金を頂き整備を行い、又、わかふじ寮軽作業棟建設についても、日本郵政公社の補助金により、同時に完成する事が出来た。

車輛整備事業では、わかふじワークセンターの送迎バスを日本財団の助成金により整備する事が出来、利用者の不便が解消された。

- ・理事会の開催（9回）、監事監査の実施（4回）、評議員会の開催（3回）
- ・顧問契約の締結（松浦弁護士、富士道公認会計士、吉岡経営センター）
- ・法人創立50周年記念式の挙行（平成16年10月30日）

■ わかふじ寮・第2わかふじ寮・わかふじワークセンター

平成15年にスタートした支援費制度は、発足から2年足らずで制度的な破綻を来し、昨年10月には「今後の障害保健福祉施策について（改革のグランドデザイン）」が示された。その後グランドデザインを具体化した「障害者自立支援法」が国会に提出され、この大きな制度変化への対応に迫られた1年でもあった。利用者への支援計画の中心となる個別支援計画については、課題だったモニタリングも定期的の実施することが出来、支援内容の見直しや確認をすることが出来た。実際の支援の実施については継続支援の結果、改善され計画の中で支援を終了するもの等も見られたが、利用者の重複障害や高齢化などの理由から、なかなか改善されていかないケースもあり、支援の長期継続化や具体的な支援内容を根本的に見直す必要に迫られたケースも見られた。

【1】介護部門

- ・個別支援計画にそつて支援を実施し、定期的にモニタリングを重ね実施した。
- ・土曜の活動については、健康・生活・交通の項目にそつた学習会、整容掃除、レクリエーションの内容のもの等、幾つかのプログラムに分けて行った。

【2】医療部門

- ・7月にミニ人間ドック・乳ガン検診、子宮ガン検診は8月に通所者、3月に入所者が受診した。
 - ・肥満や生活習慣に対する取り組み強化については、学習会でとりあげ意識づけを行った。
- 生活習慣病チェックリストを使用し、身近な間食や普段休憩時に飲む、飲み物の糖分量などを説明したがなかなか効果は上がらなかった。

【3】食生活部門

- ・温蔵庫・冷蔵庫を使用する事で温食・冷食を実施した。
- ・調理面での安全と衛生については、衛生管理チェックシートを毎日使用している。異物混入があつた際には原因をつきとめ、ミーティングを開いて再発防止に努めた。

【4】地域交流・地域解放・関係団体との交流・広報活動

- ・地元手話サークルとの連携については、毎週木曜日、職員が講師として参加し、手話サークルの支援を行った。
- ・学校福祉講座等の内容の充実と積極的支援については、地元小中学校を中心に受入れと支援を行った。

【5】授産部門

- ・公共事業などの影響を受け、厳しい環境の中での活動であつたが、「売上の確保」「仕事量の確保」「コスト能力の向上」を目標に事業振興に取り組み、売上目標を達成し、利用者の賞与も満額支給できた。

売上額 136,781千円（前年対比111.4%）

月額平均工賃（賞与含まず）

わかふじ寮（40名） 24,555円

第2わかふじ寮（40名） 16,846円

わかふじワークセンター（40名） 49,462円

■ 聴覚障害者養護老人ホーム やすらぎ荘

老人福祉法の基本理念と関係法令及び通知に基づき、利用者に対し医学的管理もとで心身の健康状態等に対応した適切な処遇と、利用者の生活意欲の増進等を図るために、身体的、精神的条件に応じた減退機能の回復訓練、又は機能減退防止のための必要な指導訓練を行い、生きがいを持てる健全で安らかな生活ができるように運営することを目的とし、市町村などの関係機関との密接な連携を図った。

【介護部門】

- ・日常生活動作能力、心理状態、家族関係及び施設内生活態度等を3ヶ月ごとに調査し、個別処遇計画を策定した。
- ・痴呆性老人の処遇対策マニュアルに基づき、個別処遇計画に取り入れた。
- ・全国4ヶ所（広島、京都、福岡、北海道）の聴覚障害者の老人ホーム利用者との交流を図った。

【医療部門】

- ・定期健康診断の実施、及びインフルエンザ予防策としてワクチン接種を実施した。

【給食部門】

- ・嗜好、残食調査を実施し、日々の食事に反映させた。

【地域社会との交流・広報活動】

- ・新得幼稚園や新得小学校との交流会を実施し、手話の歌等で交流を深めた。
- ・町民芸能芸術祭等へ参加し交流を深めた。

■ 特別養護老人ホーム 新得やすらぎ荘

利用者に対し、解決すべき課題を把握した施設サービス計画に基づき、利用者の自立の支援及び日常生活の充実に資するよう、心身の状況等に応じて、入浴、排泄、食事等の介護、相談及び援助、社会生活上の便宜の供与その他の日常生活上の支援、機能訓練、健康管理及び療養上の支援等の施設サービスを提供した。

また、個人の尊厳を重視した質の高いサービスを提供するように努め、明るく家庭的な雰囲気を有し、地域や家族との連携を図った運営を行い、市町村、居宅介護支援事業者等の関係機関や他の介護保険施設又は医療機関との密接な連携を図った。

【介護部門】

- ・自立に向けた個々のサービス計画を立て、状態に合わせた支援を行った。
- ・利用者の心身の状況に応じた適切な介護を行うために、各担当部署との綿密な連携に努め、サービスを提供した。

【医療部門】

- ・定期健康診断、インフルエンザ予防策としてワクチン接種を実施した。

【給食部門】

- ・利用者個々の状態に合わせた配慮をし、適切な給食を提供した。時間に関しては、夕食について17:30から18:00給食への変更も行い、より一般家庭に近いものになった。

【社会生活上の便宜の供与】

- ・利用者と家族との連携を図り、交流会等の機会を確保するように努めた。
- ・地域住民との連携及び協力を行うなどの地域との交流に努めた。

■ 通所介護事業所 日帰りサービスセンター やすらぎ荘

利用者が、可能な限り生活している自宅において、その能力に応じ自立した日常生活を営む事ができるよう、入浴及び食事の提供、生活等に関する相談及び助言、健康状態の確認、その他の必要な日常生活上の支援、機能訓練等のサービスを提供した。

利用者の健全で安定した在宅生活の助長、社会的孤立感の解消、心身機能の維持向上等を図るとともに、利用者の家族の身体的・精神的負担の軽減を図った。

【利用者サービス】

- ・通所介護計画に基づき、利用者の機能訓練及び日常生活を営むことができるよう必要な援助を行なった。

【衛生管理等】

- ・感染症が発生し、蔓延しないように衛生管理委員会を立ち上げ委員を中心に必要な措置を講じた。

■ 居宅介護支援事業所 新得やすらぎ荘

居宅介護支援事業所新得やすらぎ荘では、町内の要介護者等の高齢者が居宅において自立した生活ができる事を目ざしサービス等が適切に提供されるよう居宅介護支援を行った。

【介護サービス計画の策定】

- ・本人や家族が目指す在宅生活の課題解決のため有効な介護サービス計画（ケアプラン）の作成を行った。

【サービスの継続的な管理】

- ・本人、家族の意向を尊重し、専門的見地でケア会議等を行いながら総合的な援助サービスの提供に努めてきた。

【サービスの質の確保】

- ・在宅介護支援の専門家としての各研修会に参加し知識の向上や情報収集に努めた。

【利用者確保の方策】

- ・法人発行の広報や新聞折り込みチラシを作成し広く町民への周知を図った。

■ 訪問介護事業所 新得やすらぎ荘

訪問介護事業所では町の保健、医療、福祉サービスなどの関係機関と綿密な連携をとりながら、利用者の健全で安らかな在宅生活を送る事ができるよう、入浴、排泄、食事の介護その他の生活全般にわたる援助を行い、利用者の生活の質の向上の実現を図った。

【利用者サービス】

ケア検討会議を設けて利用者の状況を把握し、援助方法の検討を行なった。また、ケアマネージャーとの連絡も密に行いながら援助の方向性を確認し、サービス担当者会議では利用者や家族の意向などを踏まえた上で、援助内容等を検討してきた。また、訪問介護員の援助に差が生じないように個々の利用者へのサービスの手順書を作成しながら援助を行なった。

■ 屈足わかふじ園

支援費制度は平成15年度から導入されたが、初年度より財源不足が表面化し、今年度も居宅支援部門での大幅な赤字が予測され、制度そのもののあり方が問われる事態となり、10月に「障害保健福祉施策改革のグランドデザイン案」が示される等、対外的には大きな動きのあった1年であったが、施設内のサービス提供では利用者個々に個別支援計画を作成し、また必要に応じて計画を見直すことにより適切なサービス提供に努めた。

【介護部門】

- ・ケアプランを作成し、日々の生活援助の場面で活用しやすくするため、ファイルの設置場所や保管などの工夫を行った。
- ・引き継ぎにおいて、適切な報告体制の確立に向け取り組み、責任と連絡調整の徹底を図った。

【医療部門】

- ・夏場の食中毒防止、冬期間のインフルエンザ、ノロウイルス感染予防に万全を期した。
- ・利用者の状態に異変がある時は、看護師を中心とした連絡を徹底し状態把握に努めた。

【給食部門】

- ・嗜好調査を随時行うと共に、利用者懇談会で出された意見を献立に反映した。
- ・セレクトメニューを週2回実施し、利用者の嗜好に配慮できるよう取り組んだ。

【リハビリ部門】

- ・個別の訓練計画に基づき、ケアプランに反映させる形で進めることができた。

【生活支援部門】

- ・利用者からの相談に関しては、個別に対応を行った。利用者懇談会で出された意見に対しては、他の利用者の意見も聞きながら対応した。
- ・ボランティア講座等の受け入れや講師派遣を行った。

【その他】

- ・避難訓練を2回実施し、夜間避難訓練も合わせて行った。またビデオを利用した防災学習を実施した。

■ 屈足わかふじデイサービスセンター

全体的な利用状況として、延べ利用者数が昨年度より98名の増加（計776名）があった。しかし新規利用者がいなかったため、今後の対策が必要である。また4月からの制度変更に伴い、利用時間を従来の10:00～15:30を10:00～16:10に拡大することにより、利用者・家族からの反応も好評であった。

平成16年度の活動内容として、機能訓練では主にビデオ体操を重視して行い、レクリエーションではボールやサイコロを使った運動を園利用者と共に参加し交流を深めた。創作活動ではビーズ・籐・木工等を使用した作品づくりをし、園内の行事の際に展示した。さらに近隣の公園等に外出し、園外での活動機会を増やした。

平成16年度 決 算 報 告

財 産 目 録

(単位：円)

資 産 の 部				
科 目		摘 要		金 額
流 動	資 産			368,574,430
固 定	資 産			3,269,443,754
資 産	合 計			3,638,018,184
負 債 の 部				
科 目		摘 要		金 額
流 動	負 債			71,991,253
固 定	負 債			523,704,013
負 債	合 計			595,695,266
差 引 正 味 資 産				3,042,322,918

貸 借 対 照 表

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
流 動 資 産	368,574,430	流 動 負 債	71,991,253
固 定 資 産	3,269,443,754	固 定 負 債	523,704,013
		基 本 金	14,500,000
		国庫補助金等特別積立金	1,965,100,404
		そ の 他 の 積 立 金	190,733,020
		次期繰越活動収支差額	871,989,494
資 産 合 計	3,638,018,184	負 債 純 資 産 合 計	3,638,018,184

事業活動収支決算書

科 目	金 額
介 護 保 険 収 入	243,087,290
利 用 料 収 入	11,284,030
措 置 費 収 入	173,259,811
支 援 費 収 入	588,852,211
寄 附 金 収 入	4,185,000
雑 収 入	12,128,782
借入金元金償還補助金収入	29,220,000
借入金利息補助金収入	9,813,523
経理区分間繰入金収入	243,131,323
受取利息配当金収入	94,568
授産事業収入	145,822,985
施設整備等補助金収入	53,788,000
特別積立金取崩額	61,649,468
収 入 合 計	1,576,316,991
人 件 費 支 出	676,584,060
事 務 費 支 出	135,189,610
事 業 費 支 出	180,521,371
借入金利息支出	11,455,407
経理区分間繰入金支出	243,131,323
授産事業支出	137,070,442
そ の 他 の 支 出	1,286,128
国庫補助金等特別積立金積立額	53,788,000
引 当 金 繰 入	10,781,720
減 価 償 却 費	88,553,721
固 定 資 産 処 分 損	4,201,618
支 出 合 計	1,542,563,400
当 期 活 動 収 支 差 額	33,753,591
前 期 繰 越 活 動 収 支 差 額	728,916,112
そ の 他 の 積 立 金 取 崩 額	131,321,460
そ の 他 の 積 立 金 積 立 額	22,001,669
次 期 繰 越 活 動 収 支 差 額	871,989,494

資金収支計算書

科 目	金 額
介 護 保 険 収 入	243,087,290
利 用 料 収 入	11,284,030
措 置 費 収 入	173,259,811
支 援 費 収 入	588,852,211
寄 附 金 収 入	4,185,000
雑 収 入	12,520,652
借入金元金償還補助金収入	29,220,000
借入金利息補助金収入	9,813,523
経理区分間繰入金収入	243,131,323
受取利息配当金収入	94,568
授産事業収入	145,822,985
施設整備等補助金収入	53,788,000
積立預金取崩収入	131,321,460
収 入 合 計	1,646,380,853
人 件 費 支 出	676,975,930
事 務 費 支 出	145,971,330
事 業 費 支 出	180,521,371
借入金利息支出	11,455,407
経理区分間繰入金支出	243,131,323
授産事業支出	137,013,742
そ の 他 の 支 出	1,286,128
積立預金積立支出	22,001,669
借入金元金償還金支出	37,460,000
固 定 資 産 取 得 支 出	173,887,262
元 入 金 支 出	0
投資有価証券取得支出	0
予 備 費	0
支 出 合 計	1,629,704,162
当 期 資 金 収 支 差 額	16,676,691
前 期 未 払 資 金 残 高	279,906,486
当 期 未 払 資 金 残 高	296,583,177

合同花見・家族会総会

(わかふじ寮、やすらぎ荘、新得やすらぎ荘)

5月14日、わかふじ寮・やすらぎ荘の合同花見が予定されていましたが、天候が悪く、5月だとは思えない寒さで、いこいの広場でのお花見は中止となり、各施設内で行われました。わかふじ寮では午前中家族会総会が地域交流ホーム「ふじ」で行われ前年度の事業・決算・監査報告、今年度の事業計画・予算案について話し合われた後、障害者自立支援法についての説明会が行われました。その後、場所を食堂に移し家族の皆さんと一緒にジンギスカンなどを美味しく頂きました。今年は一週間遅くなりましたが、母の日のプレゼントとして、利用者より家族の方にカーネーションを渡しました。残念ながら桜の下での会食とはなりませんでした。でも楽しい時間を過ごすことができました。

一方、やすらぎ荘でも食堂での花見となり、楽しみにしていた利用者の皆さんはとても残念がってはいましたが、食堂には折り紙で作った桜の花びらを天井からつるし、壁には桜の木を書いた絵を張り、テーブルには花瓶の中に花に見立てた風船を飾るなどして、とても花見らしい雰囲気になり、利用者の皆さんにも喜んでいただきました。川井氏の乾杯で始まりジンギスカン、野菜、うどん、それと特養の中野トモエさんの御家族から行者ニンニクを頂き、とても美味しくお腹一杯食べ、お酒やビールなどを飲んで大変盛り上がりしました。



プロ野球観戦

(わかふじ寮)

4月19日札幌ドームで行われたプロ野球公式戦、「北海道日本ハムファイターズ対千葉ロッテマリーンズ」の試合を観戦してきました。

今回も日本ハム球団の御厚意により、札幌ドームの福祉シートに楽しみにしていた利用者19名と職員4名が招待を受けました。

午後1時にわかふじ寮をバスに乗って出発して、札幌ドームが見える羊ヶ丘のレストランで早めの夕食を済ませました。みんな元気いっぱい、今日も日本ハムが勝てるようにと願ってシートに座りました。

試合はロッテ4-1日本ハムで終盤に救援陣が踏ん張りきれず、連勝が6で止まってしまいました。8回に3連続四球で満塁のピンチを招き、代わった投手が打者一掃の三塁打を浴び、結果的にこの3人がホームを踏み、勝負は決しました。負けたのも残念だが、新庄選手が怪我をしていて最後までその姿を見せなかった事でした。しかし、セギノール選手の3号ソロホームランが4回に出たときはドームの興奮が一気に盛り上がり、プロ野球選手のパワーの凄さを感じて、なりやまない拍手を笑顔で送り、ドームの雰囲気を十分に満喫して野球観戦を楽しみました。北海道日本ハムファイターズ様と関係者の方々の御厚に感謝いたします。ありがとうございました。



ボウリングレク

(わかふじ寮)

3月～4月にかけて4班に分かれてボウリングレクを行いました。毎年行っている行事で利用者の皆さんも楽しみにしている行事のひとつです。朝から帯広のスズランボウルへ行き、上位3位までには賞品が出る為、皆さん真剣にゲームを行いました。

ガーターやレーン以外にボールを投げてしまったりと珍プレーもありましたが、楽しい一日を過ごし、ボウリングのあとは焼肉をお腹一杯食べて帰ってきました。



全国ろうあ者大会

(やすらぎ荘・新得やすらぎ荘・わかふじ寮)

5月25日～29日に、札幌市で全国ろうあ者大会が開催され、やすらぎ荘からは15名、わかふじ寮からは32名の方が参加されました。

28日の朝出発し、バスで峠を走っている時は周りは霧で何も見えない状態でしたが、夕張に入ると天気も良くなり桜も咲いていて、「きれいだねえ」という声も上がり、心が和んでいる様子でした。宿泊先の定山溪ビューホテルでは、おいしい料理を食べ、温泉につかり、ゆっくりと身体を休め、次の日に福祉大会の会場へ足を運びました。今年は、全国大会という事で、道内外から大勢の方々が集まり、式典時には拍手・喝采で賑わっていました。会場で再会した友人・知人に「久しぶりだねえ」「元気だった」等、たくさんの方と談笑し、皆さん大喜びでした。また、次回の再会を楽しみにしての帰荘となりました。



自治会役員改選 (わかふじ寮)

4月30日、自治会役員改選を行いました。2年間このメンバーで頑張っていきますのでよろしくお願い致します。

自治会役員改選(平成17年4月～平成19年3月まで)

会 長	老木 洋二
副 会 長	柳瀬 幸信
通 所 代 表	鈴木 司
通所副代表	横尾 義晴
会 計	斉藤 拓美
監 査	鈴木 司
文 化	北沢 宏行
体 育	水本 昇
	斉藤 拓美
	西村 勉
	井上 勝
保 健 衛 生	須田 有示
	諏訪 久機
	水野 邦雄
ホー ム バ ー	田村 悟
	田村 潔
	中野 勝弘
	山口 正博
	森谷 功一
	亀田 尚志
	柳瀬 幸信



道東ろうあ者スポーツ大会 (わかふじ寮)

5月21～22日に中標津で行われました。利用者16名がパークゴルフに参加しました。結果は次の通りです。

男 子

1 位	佐治 信也
2 位	笠井 宏有
3 位	山内 幸男
4 位	西村 勉
5 位	平田 常男
5 位	道端 均
9 位	岩田 俊成

女 子

4 位	川口 武子
5 位	平田くに子
6 位	笠井ヒロ子



お茶会

(やすらぎ荘)

3月11日、昨年から始めた行事の1つお茶会を開きました。雰囲気は昨年よりもさらにパワーアップし、壁に絵画を掛け、テーブルの上には花を飾り、職員全員でウェーター、ウェイトレスに扮し、本格的な喫茶店を作りました。

利用者は、コーヒー、ココア、ジュースの写真が載っているメニュー表から好きな飲み物を選び、ショートケーキと一緒に食べて、喫茶店の雰囲気を味わいました。イヤリングをつけ、おしゃれをして淑女になる女性の方や、素敵な紳士になる男性の方が何人もいました。そして、緊張気味でお店に入り、帰る際に「ごちそうさまでした」と挨拶してくれました。

何よりも好評だったのは、ドリップでコーヒーを落とすのを見えるように、カウンターを作り、漂うコーヒーの香りを嗅ぎながら、ケーキや飲み物を頂くことで、「



コーヒーの香りがいい」と皆さん大変喜ばれ、前回と同じように、コーヒーに人気が集まりました。

町内外食

(やすらぎ荘)

平成16年度最後の行事として、3月28日に町内外食を行いました。利用者の皆さんが町内の4店舗に分かれて、自分の好きな物を食べに行く行事として恒例になっています。今年は予約していたひとつが店の都合で中止となり残念でしたが、急遽他の店に分かれていただき3店舗に出かけました。

当日、体調不良で行けなくなった2名の利用者を含めて、残留の利用者3名も、それぞれの希望の食事を、職員が運び、食べることができました。

冬の間、施設内に閉じこもりがちだった利用者の皆さんは、久しぶりに外出して、美味しい食事をし、満足しておられました。



開所記念夕食会

(やすらぎ荘・新得やすらぎ荘)

平成17年4月1日にやすらぎ荘24周年、新得やすらぎ荘15周年の開所記念夕食会が行われました。3月31日付けで退職した大山口前施設長に替わり、高畑訓子新施設長の挨拶で始まり、新任職員の紹介、利用者代表の方に乾杯をしていただきました。お祝いのまんじゅうや、御馳走に舌鼓を打ち、皆さん楽しい一時を過ごされました。



買物外出

(やすらぎ荘)

5月23・24日、2グループに分かれ、帯広へ買物外出に出かけました。イトーヨーカドーでは、衣服、食料品等を購入され、一番楽しみにしていた昼食では、ラーメン、カレーライス、お寿司等、数日前からメニューを決められている方もいました。ホームックでは、広い店内をゆっくり見て、日用品、テレビ等を購入されていました。

又、桜が見頃で、満開の桜に目を奪われうっとりする姿も見られました。帰りの車内では、お腹と目が十分に癒された為か、居眠りする姿も見られましたが、とても楽しい1日を過ごす事が出来ました。



ヒーロー・ヒロイン (新得やすらぎ荘)

今回ご紹介するのは、3月4日に入所された関カツエさんです。関さんは、小柄な体ですが、力強く車椅子を自操されています。お話しがとてもお上手で、デイサービスや養護へ遊びに行ったりと、たくさんの方々と交流されています。又、歌を歌う事もお上手で、私達にいつも聞かせて下さり、つついられて口ずさんでしまいます。アメが大好きでお渡しすると、とても美味しそうに味わっていらっしやいます。これからもさらにお友達を増やし、好きな物をたくさん食べて、毎日を楽しく過ごして頂きたいと思います。



ボランティア来荘 (新得やすらぎ荘)

4月6日、職員の御家族で、大河内美佐子さん、福山敦子さんによる床屋ボランティアがありました。年に数回来て下さいますが、お二人とも以前美容室に勤めていたという事もあり、利用者の皆さんは毎回楽しみにされています。今回10名の方が散髪され、どんな髪形になるのかとわくわくされている方もおられ、散髪後は鏡で色々な角度からチェックし、とても気に入り笑顔も見せられていました。皆さん大満足で大変喜ばれていました。

又、4月29日には新得町の天理教の方が来られ寒い中、外側を中心に窓拭きをしてくださいました。窓がきれいになり、緑の美しい季節になってくるので外の景色も、より一層美しく利用者の皆さんの目に映るのではないのでしょうか。



長寿の祝 (やすらぎ荘・新得やすらぎ荘)

5月26日、今年度最初の長寿の祝いが行われました。今回お祝いを受けられる方は、養護は五月女氏(喜寿)、霜村氏(傘寿)、特養は佐々木静江氏(喜寿)、猪股氏(米寿)、高橋氏(白寿)の5名の方でした。特に白寿の高橋助吉さんは、「99歳おめでとう!!」と飾られたアーチを通り、皆さんの盛大な拍手で迎えらるなど、盛大にお祝いを受けられました。高畑施設長より「助吉さんを見習い、99歳を目指してたくさん笑ってたくさん楽しんで生活してください」と挨拶を頂き、みなさん恥ずかし



そうにしながらも家族や友人に、赤いちゃんちゃんこを着せてもらい写真もたくさん撮りました。また、みなさんお酒を飲まれ、顔を赤くしながらですが、養護の利用者と職員による「お米さん音頭」や特養の利用者の方の歌など披露されました。お祝いを受けられた方も、お祝いをした方も皆さん楽しまれ和やかなお祝いの席になりました。

若柳会来荘 (やすらぎ荘・新得やすらぎ荘)

5月20日、屈足から若柳会の方々が来荘され、踊りを披露して下さいました。今回は特養、養護、デイサービスの利用者の方が見学され、中には開始時間前から待ちきれず会場の椅子に座って待っている方もいました。踊りが始まると声援を送る方や、ずっと真剣に見学される方、音楽や踊りに合わせて手拍子をする方などがいらっしやいました。全ての踊りの披露が終わった後も、握手をしたり、「また来て下さいね」「着物綺麗だね」と声を掛けている利用者もあり、みなさん大変喜ばれていました。また機会があれば、是非来て頂きたいと思います。



健康学習会

(やすらぎ荘)

5月18日(水)食堂で健康学習会が行われました。今回は「食中毒にならない為には」をテーマに3つの注意点を説明しました。

- ① 食べる前、料理をする前、外から帰ってきた時、トイレに行った後などに手洗いを忘れない
- ② 生ものはすぐ食べましょう 冷蔵庫に入れてあるから安心という事ではありません
- ③ 箸、箸入れ、コップ、タッパ、ふきんはキレイですか

などの事を寸劇を通して、良い例、悪い例を見て頂き判断してもらいました。悪い例の時は大きく手を上げてバツと表現されたり、良い例の時には、自分は大丈夫と話される方もいました。利用者の方も、説明する職員達も力が入り、最後まで楽しく好評の中終わる事が出来ました。



花見ドライブ

(日帰りサービスセンターやすらぎ荘)

新緑の風薫る5月に入っても雪が降ったり、寒い日が続く不順な天候でしたが、温かい日が続いたり、やっとつばみを持っていた桜も花を咲かせてくれ、当センターでも5月20日～26日の間ドライブをすることが出来ました。北新得の樹齢95年以上になる桜、栄町団地の桜（ともに新得町の銘木指定）そして神社山の桜を見学しました。毎年のことではありますが、桜の花の鮮やかさ、そして可憐な姿を見て、ただただ「綺麗だね」の一言が多く聞かれました。また期間後半になると桜のもうひとつの醍醐味ともいえる舞い散る桜、そして地面一面を彩る桜を見ることができ、春の訪れを感じてもらえたと思います。



ひなまつり

(屈足わかふじ園)

施設では、3月3日(木)にひなまつりが行われました。当日は食堂にて飾り付けられた雛壇を見て、お菓子やジュースを食べながら話に夢中になったり、お内裏様とお雛様を見立てた衣装を着て、雛壇の前で写真を撮ったりしました。気の合う利用者同士で写真を撮られる方もいましたが、中には「この職員と一緒に写真を撮りたい」と言っていて、恥ずかしそうに写真を撮ってもらおう人もいて、皆さん桃の節句を楽しく過ごされていました。



ホワイトデー

(屈足わかふじ園)

3月14日(月)、施設利用者とデイサービス利用者がホワイトデーを楽しみました。

この日のお菓子は、利用者が料理クラブで作った手作りクッキーを、一人一人に可愛くラッピングして好みの飲み物で美味しくいただきました。

このクッキーを作るにあたり、昨年「生地が柔らかくて焼く前の型抜きがしづらかった」という反省があったので、今年は生地を硬めにして作ってみました。できあがりには少々硬めになりましたが、しっかりと形が整って食感も良い仕上がりとなり、参加された利用者には大変好評でした。



開所記念日 (屈足わかふじ園)

4月1日(金)、屈足わかふじ園は平成12年4月に開所以来6回目の開所記念日を迎えました。利用者、職員一同食堂に集まり、最初に理事長より挨拶をいただき、その後施設長から挨拶と合わせて4月から新たに仲間入りをさせていただいた職員の紹介があった後、各自自己紹介を行いました。

最後に利用者自治会長より乾杯の後昼食となり、メニューは生ちらしでした。利用者からは、新鮮で味も最高という声が多く、満足されていました。

職員も利用者が充実して生活ができるよう、努力しようと決意も新たにす一日ともなりました。



手話サークル慰問 (屈足わかふじ園)

4月5日(火)、屈足手話の会の慰問がありました。

施設のクラブの中でも手話クラブは人気のあるクラブで、手話の会の慰問をととても楽しみにしていました。

当日は、食堂にステージを設置し、その上で手話の会の方々が披露して下さる歌に合わせて、利用者も一緒に手話で歌っていました。特に新曲になりますと皆真剣に会の方の動きを真似ながら手を動かしており、その表情を見ていると「来てもらって良かったなあ」という気持ちになりました。また機会があればお越し頂きたいと思います。



防災学習 (屈足わかふじ園)

4月6日(水)、食堂にて防災学習を行いました。当日は新得消防署より、防災に関するビデオを2本お借りし、ビデオを見ながらの学習となりました。

1本目は防災アニメーションで地震に関する内容であり、身の安全を守る上で互いに声を掛け合い、助け合っていくことを学びました。2本目の「うっかり家の人々ー住宅防火診断のすすめー」では、出火原因となるタバコや火気の扱い方について関心が集まり、危険な取扱いについて再認識しました。また利用者の皆様には、出火原因となる物を発見した際には、すぐに職員に伝えていただくようお願いさせていただきました。

今年2回目の防災学習でしたが、参加者全員が真剣に見られており、各自の防災意識を高めることのできた学習会となりました。

花 見 (屈足わかふじ園)

5月11日(水)、屈足わかふじ園食堂にて花見が行われました。

今年は前日までの寒さと天候不良のため、昼食時に合わせて焼き肉を楽しむこととなりました。中庭で肉が焼き上がるまで、利用者の方はカラオケ、ビンゴゲーム等でボランティアの方々も交え楽しい時間を過ごしました。昼食が始まると、それぞれの食事形態に合わせた肉や野菜、魚などが配られ美味しく頂きました。

開花予想日と異なり、まだ桜の蕾もまだ固くて咲く気配もありませんでしたが、十分に春を先取りしていた利用者はとても楽しそうでした。



外出日

(屈足わかふじ園)

今年も、利用者の希望に応じた外出を予定し順次実施しております。5月は焼き肉コース、回転寿司コース、イトーヨーカ堂への買い物コースの3つから選択していただきました。焼き肉コースに参加された方は地元屈足の平和園で特上カルビをはじめとして好きな肉をお腹一杯食べられました。また回転寿司コースは芽室町の羽衣亭までバスで出かけ、予約席に着席した途端「トロ、イクラ、ウニ」と注文が飛び交い、店にとっても最良のお客さんだったのか「ありがとうございます」という声が一際高かった気がしました。買い物コースに参加された方は、それぞれ目的の物を予算より安く購入できて良かったという声が多かったです。

外食の日

(屈足わかふじ園)

3月5日(土)、施設外の食事を利用者の皆さんに食べてもらう外食が行われました。

今回はセイコーマートの丼物6種類の中で自分が食べたいものを選んでもらいました。選ぶ段階から「どれが美味しいのかな」と真剣に悩み、お勧めは何か職員に聞かれる人もいました。当日は、多くの方が楽しみにされていて普段食べられない方もたくさん食べられるなど「いつもと違ったご飯で美味しかった」と喜んでいました。



交通安全大会

6月1日(水)わかふじ寮地域交流ホームにおいて、交通安全大会が行われました。今年で6回目を迎えるこの大会は、職員の交通安全に対する意識高揚と断固たる決意をもって事故防止に努めていくことを宣言する場となりました。

大会には新得警察署より交通課長の中野警部を来賓としてお招きし、ビデオを見ながら事故について解析していただき、留意点、具体的な対策について説明を頂きました。職員一同、「明日は我が身」という気持ちで真剣に聞き入っておりました。その後、昨年行ったセーフティーラリー期間中無事故、無違反だったチームに対する表彰を行い、最後は職員代表として屈足わかふじ園の永野介護主任より交通安全に対する決意を宣言し、終了となりました。今後とも法人では、事故に遭わない、遭わせないように取り組んでいきたいと思っています。

今後の行事予定

7月	日帰り旅行(わかふじ園)
7月30日	ふれあい盆踊り(わかふじ寮・やすらぎ荘)
8月27日	きずなの郷まつり(わかふじ園)
9月	一泊旅行、日帰り旅行(わかふじ園)
9月3日	合同運動会(わかふじ寮・やすらぎ荘・新得やすらぎ荘)
9月	全国ろう重複施設入所者交流会(わかふじ寮)
9月17日	自治会PG大会(わかふじ寮)
10月22日	文化祭(わかふじ寮)



お 知 ら せ

個人情報の取り扱いについて

平成17年4月から施行の「個人情報保護法」に従い、当法人では個人情報の取り扱いに規定を制定し、また監査体制を強化いたします。また外部委託機関との間におきましても契約事項で規定して個人情報保護に努めてまいります。

又利用者の皆様への介護（支援）を安全に確実にご提供するために、同法に基づく厚生労働省発行の「医療・介護関係者における個人情報の適切な取扱いのためのガイドライン」に従い個人情報の取り扱いを行ってまいります。

尚、当法人の個人情報に対する基本方針につきましては下記の様になっております。

個人情報保護に対する基本方針 (プライバシーポリシー)

平成17年5月24日

1. 基本方針

社会福祉法人厚生協会は、当法人が扱う個人情報の重要性を認識し、その適切な保護のために、自主的なルール及び体制を確立し、個人情報保護に関する法令その他の関係法令及び厚生労働省のガイドラインを遵守し、利用者の個人情報の保護を図ることを宣言いたします。

2. 個人情報の適切な収集、利用、提供の実施

- (1) 個人情報の取得に際して、利用目的を特定して通知または公表し、利用目的に従って適切に個人情報の収集、利用、提供を行います。
- (2) 個人情報の収集、利用、提供にあたっては、本人の同意を得るようにします。
- (3) 個人情報の紛失、漏えい、改ざん及び不正なアクセス等のリスクに対して、必要な安全対策、予防措置等を講じて適切な管理を行います。

3. 安全性確保の実践

- (1) 当法人は、個人情報保護の取り組みを全役職員等に周知徹底させるために、個人情報保護に関する規定類を明確にし、必要な教育を行います。
- (2) 個人情報保護の取り組みが適切に実施されるよう、必要に応じ評価・見直しを行い、継続的な改善に努めます。

4. 個人情報保護に関するお問い合わせ窓口

利用者ご本人から、当法人が保有する個人情報についてのご質問やお問い合わせ、あるいは、開示、訂正、削除、利用停止等の依頼について、以下の窓口でお受けいたします。

上川郡新得町西3条北1丁目 社会福祉法人 厚生協会
Tel 01566-4-5001.

社会福祉法人 厚生協会
理事長 佐々木 忠利

御寄付・御寄贈ありがとうございました

平成17年4月1日～平成17年6月31日（敬称略）

【わかふじ寮】

深川市 須田有俊
陸別町 みどりの園
神奈川県 高橋秀雄
標茶町 大山敏宏
札幌市 境伊砂夫
札幌市 坂口和成
北見市 佐々木勇吉
日高町 藤沢英明
苫小牧市 牧野武司
砂川市 年藤米子
札幌市 平田敬一
神奈川県 島津千鶴子
中富良野市 水本康弘
上士幌町 サイクルストア市川
秋田県 横山繁
大阪府 (株)マスター
東京都 今村良三
埼玉県 ふれあいの里どんぐり
兵庫県 兵庫障害者協会小松
宮城県 虹の園
福岡県 工芸会ワークセンター

【やすらぎ荘】

新得町 千葉玄昭
新得町役場婦人会

新得町

三浦商店
上田製肉店
JA新得
川久保チヨ
すみれ会代表 三谷 勇

幕別町 帯広市

川崎市 鈴木悦子
士幌町 保坂 勇
釧路市 中鉢秀樹
埼玉県 工藤悦一
神奈川県 五月女要
当麻町 山口和子
旭川市 鈴木淳子

【新得やすらぎ荘】

新得町 奥山タ子
塩入ヶ谷ひとみ
すみれ会 代表 三谷 勇
片桐浅夫
上田精肉店
三浦商店
中野耕次
千葉玄昭
さくらなきずなの家代表 中村景子

新得町

菊地 乾
高橋秀雄
大内利政
新得町役場婦人会
望木芳子
増田夏江
平野正雄
金野萬

岐阜県 静岡県

【デイサービス】

新得町 佐藤弘恵

【屈足わかふじ園】

帯広市 高木皮膚科
帯広市 帯広聾学校
新得町 屈足歯科
音更町 宮路禮子
新得町 八木ツル子
美唄市 鴨原ヤイ
上士幌町 太田新次郎
広尾町 森田府美也
芽室町 藤澤三夫
新得町 高杉チエ
帯広市 柳沢秀一
帯広市 田中一男
帯広市 荒井洋子

社会福祉法人厚生協会では、法人の情報をホームページで公開しています。ご意見やご希望についても電話・Eメールで受け付けていますのでご利用ください。

厚生協会ホームページ

<http://www.wakafuji.or.jp>

厚生協会E-mailアドレス

wakafuji@rose.ocn.ne.jp（屈足わかふじ園）
wakafuji@netbeet.ne.jp（わかふじ寮）

関 覧

厚生協会の事業報告書・財産目録・貸借対照表及び収支計算書等が閲覧できます。

関 覧 場 所

厚生協会 法人事務局
新得町西3条北1丁目わかふじ寮内

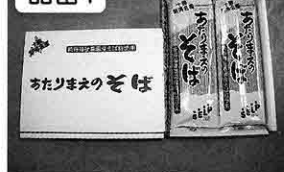
編 集 後 記

今回初めて広報の編集の仕事に携わり、何もわからず、周りの方々に助けて頂きながら何とか完成しました。これからビールの美味しい季節がやってきます、今年の夏は暑くなるのでしょうか？

やすらぎ荘事務局

あたりまえのそば

品番1



品番2



品番3



品番4



「あたりまえのそば」・「あたりまえのとうろそば」 お中元にいかがでしょうか？

「お中元」の一品にお加え下さい。特別価格にて販売いたします。別紙注文用紙にてFAXまたは、郵送にてお申し付けください。

ご不明な点は

わかふじ寮 ☎01566-4-5001までご連絡ください。
お待ちいたしております。

品 番	品 名	規 格	特 別 価 格
1	あたりまえのそば	10把 化粧箱入り	1,650円
2	あたりまえのとうろそば	10把 化粧箱入り	1,900円
3	そば+とうろそばAセット	各5把 化粧箱入り	1,800円
4	そば+とうろそばBセット	各3把+そばつゆ12個化粧箱入り	1,850円